

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」塩尻校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			限られたスペースの中でパーティションを使用し、個別で療育を受けられるスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法で定められた人数を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			防音マットなどを敷いていますが、転倒などないように足元への注意と声かけをしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員全体での会議を定期的に行い、日々の改善に繋がるようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今回、事業所評価は初になりますが、事業所評価アンケートの時以外にも保護者様や児童の意向などをこまめにお聞きし、業務改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	開所して、今回初めての公開予定になります。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今回、利用者様・事業所内評価を行っていますが、今後は必要に応じて外部者評価の実施も検討していきたいと思えます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的な研修を行って、職員の資質向上に努めています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			期間ごと、もしくは保護者様のお申し出により、アセスメントを行って、個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所で統一のアセスメントのツールを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的に会議を行い、情報を共有する中で立案を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			お子様 1 人 1 人の特性やその時々のご様子に合わせたプログラムを作成しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇前など、相談支援を行い、課題や問題への対策と一緒にご検討いただき、対応しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援後のフィードバックやモニタリング、相談支援などの情報を元に個別療育と集団療育のプログラム計画を立てています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼を実施し、お子様の支援の様子や担当などを職員間で情報共有をし、その日の確認を行っています。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			夕礼を実施し、当日支援を行ったお子様の担当より変化やご様子など情報共有をしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援終了後、記録をとって、次の支援に役立てるよう情報共有をしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを行って、お子様のご様子やその時々に応じた計画の見直しを図っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			支援者会議などで、学校や他事業所と連携し、情報を共有することによって、より良い支援に努めています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			児童発達支援管理責任者、およびお子様の支援に関わっている指導員が会議に参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			担任の先生や家庭支援課の職員、支援コーディネーターの先生などと連携を取ることで、トラブル発生時など事態にも対応できるようにしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			必要に応じて、主治医と連絡体制が取れるよう関係機関との連携をしています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			支援者会議などを通じて、保育園や幼稚園、他事業所などと情報共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		今後、障害福祉サービス事業所等へ移行する時があれば、連携を取って情報の共有を行い、より良い支援に繋がるような体制づくりを行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて、専門機関と連携を取る体制を整えています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在は交流を持つ機会がありませんが、機会があった場合には対応できるようにしています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加できるような体制にしていきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者様と支援後にフィードバックの時間を設け、発達の状況や課題、様子などを共通理解として、お話ししています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレントトレーニングの知識を学び、フィードバックの時間にお子様への対応方法、声かけの仕方など、アドバイスをしています。
保護者へ	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧な説明を行い、不明点などは適宜ご説明の時間を設けています。

の 説 明 責 任 等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		支援後のフィードバック、相談支援の時間を設け、日々の困りごとや悩みに対する相談に対する助言と支援を行っています。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者交流会を月に1度開催し、保護者同士の交流、情報交換や共有ができるような体制を作っています。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情の受付担当・解決責任者の制定をしており、いつでも迅速で適切な対応ができるように体制を整えています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		定期的にお便りを作成し、教室内に掲示しております。その他、Instagramやブログに活動の内容をアップし、ご連絡しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に記載された書類のファイル等は、カギ付きの書庫に保管し、第三者の目に触られないようにしています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		理解できるような言葉を選んでの声かけ、視覚的な説明を用いて、お子様や保護者様が理解できるまで、時間をかけて伝達を行っています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		志學館高校のボランティア部の学生との交流があり、小集団サークルへの参加や壁面飾りなどの作成をしていただいています。
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルを策定しており、定期的な訓練と研修を行っています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に1回の避難訓練を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		マニュアルの策定、研修を行い、虐待防止に努めています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		マニュアルを策定し、必要のあるご家庭については、契約時に身体拘束に関わる同意書を依頼しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	面談時にアレルギーの有無を確認しておりますが、現在、食事の提供は行っていません。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例が起こった時には、報告書を作成し、保管しています。事例は、職員間で情報共有を行い、再発防止の対策と対応を行っています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」塩尻 校

保護者等数（児童数）： 14 回収数： 13 割合： 92%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	2	0	限られたスペースの中でパーティションを使用し、個別で療育を受けられるスペースを確保しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	0	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	6	1	今ある設備の中で、お様が安全に療育を受けられるような体制を整えています。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	13	0	0	・こちらのニーズに対応してもらって、とても助かっています。 →今後もご要望に合わせた支援、対応を行っていきたいと思っております。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	11	2	0	・きらりサークルは毎回違うことを考えてくれている。 →今後もお様が喜んでくださるよう工夫してまいります。 ・話を聞いてくれたうえで提案や意見をしてくださるので、色々な発見ができます。 →これからも困りごとやご家庭でのこと、何でもお話しください。保護者様と一緒にお子様の成長のお手伝いをさせていただきたいと思っております。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	9	4	志学館高校のボランティア部の方々と交流があり、サークルに参加いただいたり、壁面の飾りを持参してくれています。(年明けからはコロナにて自粛になっています)
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	0	0	・利用したその日に活動内容や今後の話など親との話し合いの時間を取ってくださるので、共通理解が出来て、とても助かります。 →今後も細やかなフィードバックや相談支援を行ってまいります。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	0	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	4	1	職員が進行しての保護者交流会を月1回行っています。共通の悩みに「うちもそうです」と共感したり、年齢が少し先輩のお子様のお話を聞いて、進学や進路のことなど聞くことができ、喜んでいらっしゃる保護者様もいらっしゃいました。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	3	0	今のところ苦情はございませんが、苦情があった場合には、迅速かつ適切な対応ができるような体制を整えております。

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	3	0	定期的にお便りを作成し、教室内に掲示しております。その他、Instagramやブログに活動の内容をアップし、ご連絡しています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	12	1	0	個人情報が記載された書類のファイル等は、カギ付きの書庫に保管し、第三者の目に触れられないようにしています。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	3	1	マニュアルを策定しており、定期的な訓練と研修を行っています。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	5	2	お子様を含めた訓練が行えていないので、今年度は年間計画に組み込み、保護者様に事前連絡をし、お子様も一緒に避難訓練を行う予定です。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	11	2	0	・勉強の後のトランプなどのリラックスする時間が楽しみなようです。 →学習する時間と楽しむ時間のメリハリをつけて行っております。今後も楽しんでいただけるような支援を行ってまいります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	13	0	0	・とても人見知りする子ですが、先生一人一人が丁寧にやさしく楽しく接して下さるので、私も子どもも安心して通わせる事ができ、勉強面でも発達面でも前向きになれる支援をいただいています。 →今後も安心して通所していただけるよう、楽しく、前向きになれるような教室を心がけていきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。